

高梁市 議会 だより

第14号
2013年5月

3月定例会開催

特集 駅周辺整備はどうなる? ②

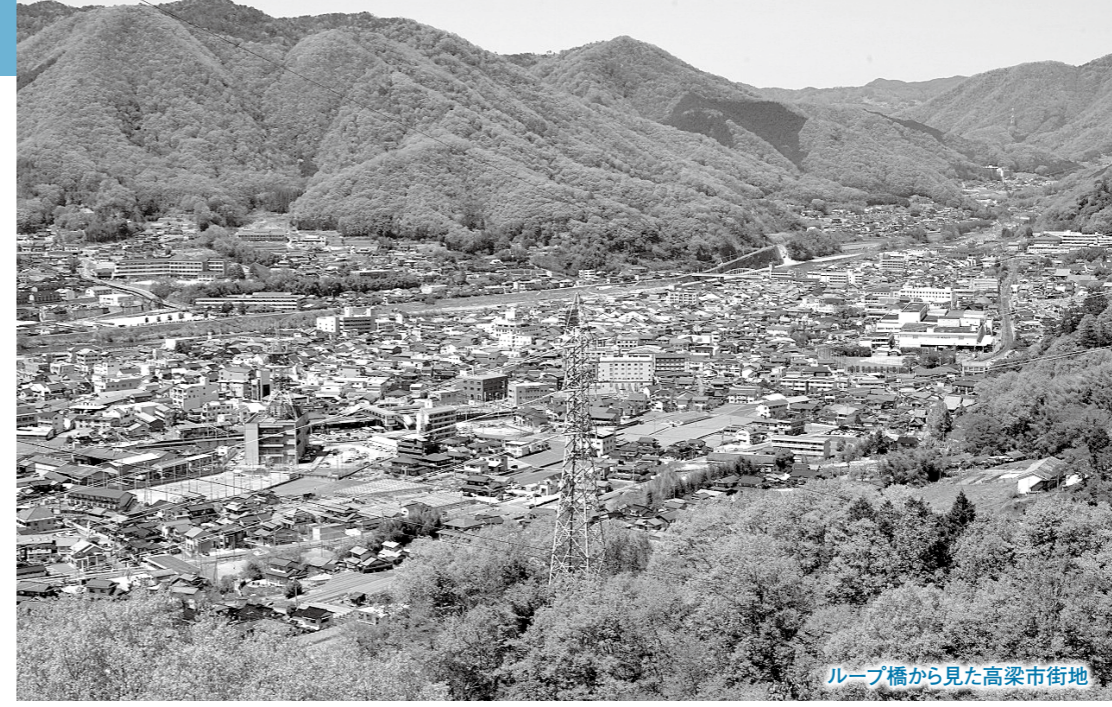
一般質問 ここが聞きたい! ⑤

議会報告会を開催しました ⑬

気になるスポット ⑭

駅周辺整備はどうなる？

3月定例会では平成25年度予算などを審議 多くの建設計画が議論されました



ループ橋から見た高梁市街地

市長から、定住対策・子育て支援の充実に引き続き取り組みほか、教育環境の整備、産業振興、健康・福祉・環境対策、交流人口の増加を柱にした、平成25年度予算が提案されました。

一般会計予算には、新庁舎建設や備中高梁駅バリアフリー化等整備事業、高梁中央図書館の建設などが含まれ、議員から多くの質問や意見が出されました。

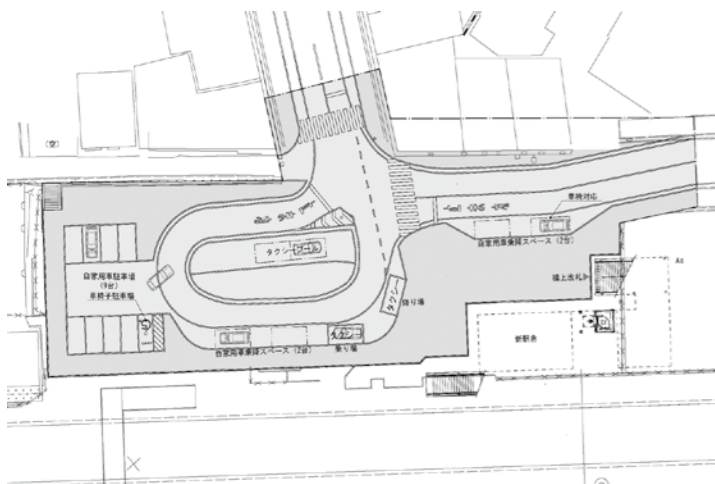
高梁市国民健康保険特別会計予算では、加入者の医療費が伸びるなか、この会計を維持するため、基金の取り崩しや保険税の引き上げを行うことが提案されました。

また、機構改革では健康福祉部を設け4部制とし、市の重要施策を担当する市長直轄の政策監を置くことが提案されました。

備中高梁駅 バリアフリー化等整備事業 負担金 3億7千万円



現在の高梁駅前広場



市が計画している高梁駅西交通広場整備計画の予定平面図

JRが行う備中高梁駅バリアフリー化事業に対する市の負担金が予算化されたものです。このバリアフリー化事業にあわせて、市では駅西交通広場整備が計画されており、今後は、計画の詳細が議会へ示されますので、全員協議会等で議論することになります。

高梁市役所 新庁舎建設

新庁舎整備工事費 12億円



新庁舎完成イメージ図

新庁舎建設計画にはさまざまな意見があるなか、これまで議会では特別委員会や全員協議会で、建設位置や規模などの協議を行い、一定の結論を得たことにより平成25年度整備工事費が予算化されたものです。

高梁中央図書館 整備計画

設計委託料4150万円に 質問・意見が集中



現在の高梁中央図書館2階

中央図書館整備計画では、執行部が示した駅前バスセンターに対して、議員からは、もう一つの候補地であった文化センター南側の市有地に建設すべきだとの意見や、場所の決定に至る経緯説明を求める意見や、建設位置について再考を求める意見などが出されました。執行部からは、議会に対して建設位置を含め今後協議していきたいとの考え方が示されました。

新庁舎の概要

- ・地下1階、地上5階
- ・延べ床面積約6450㎡
- ・駐車場（約110台）
- ・平成26年度末完成予定

委員会報告は11ページから!



備中地域局



成羽高校跡地

Q. 西部土木事務所にどのような機能を持たせるのか？

A. 備中町に設置し、農林・土木・簡易水道等の管理を行う

バランスのとれた高梁市となるよう、今後どのような施策を講じるのか

柳井 地域局の土木部門を統合して、事務所を設置することだが場所はどこか。業務内容は土木関係だけなのか。また職員数ほどの程度に設定されているのか。

総務部長 設置場所は、地理的な中心である備中町を想定している。農林・土木関係を中心とし、簡易水道等の施設管理も担っていく。なお、職員数については検討中である。

柳井 成羽高校跡地を、平成25年度中には県から買い入れる方向であると説明があったが、どのように対応するのか。

市長 平成25年度に取得をさせていただく。これから県に対し譲渡を申し入れ、交渉・手続きが整った段階で予算計上する。その後の利用方法は幼稚園と保育園の一体化に向けた施設として、また市内の養護老人ホームを統合した高齢者福祉施設の設置を考えている。

Q. 高梁にも核となる地域ブランドが必要では？

A. 重要戦略の1つとして考えている

ここを聞きました **柳井 正昭**

● 平成25年度事業計画について



山田方谷は高梁の顔になるか？

市が一丸となった地域ブランド作りが必須

石井 本市には、観光業や産業と関連付けて市をPRするためのブランドがあるのか。

市長 地域ブランド作りは重要戦略の1つとして考えているが、現在のところ統一したものを持ち得ていない。喫緊の課題として考えていく必要がある。

石井 シンボルマークやキャッチフレーズが必要ではないか。

市長 来年、市政10周年を迎えるということが念頭に、統一したものが欲しいと考えている。

Q. 高梁にも核となる地域ブランドが必要では？

A. 重要戦略の1つとして考えている

ここを聞きました **石井 聡美**

● がん検診の受診率を上げることが急務

● 地域ブランド戦略について

● がん検診について

● 移動診療車について

● 定住対策について

がん検診の受診率を上げることが急務

石井 本市は県平均よりも、がんが多いにも関わらず、がん検診の受診率が減少傾向にある。受診率向上の対策をとるべきではないか。

市民生活部長 高梁市では乳がん、肝臓がんが多い。市としても数年前からPRを行っているが、なかなか受診率向上につながっていない。

石井 成人検診ガイドブックが一部の賃貸住宅に配布されていない。不公平ではないか。

市民生活部長 検診日を公式サイトに掲載し、各病院や市役所、地域局にもガイドブックを設置している。平成24年度の検診でも17人のがんが見つかり、危機意識を高めていきたい。



3月定例会

平成25年第1回高梁市議会（定例）が、3月5日から25日まで開催され、平成25年度一般会計予算など79件を審議しました。一般質問では、12名が38項目にわたって市政について質問しました。

3月定例会開催

■ 審議結果

第1回高梁市議会（定例）では、追加提出の議案4件を含め、市長提出の議案79件すべてを原案のとおり可決しました。また、議会に寄せられた請願、陳情については、継続審査を含む請願2件、陳情1件のうち、2件を不採択、1件を継続審査としました。さらに、議員発議の議案1件を原案のとおり可決しました。

3月定例会で賛否が別れた議案の議決結果

○ 賛成 ● 反対

件名	石井	石部	石田	黒川	三村	内田	宮田好	森田	大森	長江	柳井	倉野	植田	川上修	宮田公	川上博	大月	妹尾	難波
高梁市事務分掌条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
高梁市一般職の任期付職員の採用等に関する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成25年度高梁市一般会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成25年度高梁市国民健康保険特別会計予算	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を国に求める意見書提出に関する請願	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○
年金2.5%の削減中止を求める請願	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○

※私学に対する補助及び助成の御願いの陳情書は継続審査

◎ 他の議案は全会一致で可決しました

Q. 国保世帯に大きな負担を強いる増税に反対！
A. 相互扶助の制度であり、相応の負担をお願いしたい



- ここを聞きました！ **石部 誠**
- 国保税の引き下げを求める
 - 市道の修繕、小規模改良について
 - 公共施設の会議室の無料開放を求める

国保税の引き下げを求める

石部 高梁市の国保世帯は、収入が200万円以下が8割を越える。その中で増税が計画されているが、むしろ引き下げるべきではないか。

市民生活部長 国保世帯は低所得者や年金生活者が多く、負担は多くなる。そのために基金を少しずつ取り崩し負担軽減を図っている。相互扶助の制度であり相応の負担をお願いせざるを得ない。

遅れている市道の修繕や小規模改良を求める

石部 数年前からの市道の修繕や、小規模改良の未対応が年々増えているが原因と対策はどうなのか。

産業経済部長 毎年170件程度の要望があり、危険性・緊急性の高

いものから対応している。単市の事業であるが体制の整備や予算確保に努めたい。

公共施設の会議室の無料開放を求める

石部 高梁市の市街地には無料の会議室がない。市民の活動を積極的に奨励するためにも無料開放を求める。

総務部長 使用料負担は当然のこととご理解をいただきたい。グループや団体の活動については、応分の協力をしたい。

石部 現在の高梁市は、大型箱物事業に傾斜している。合併前の1市4町の暮らしと現在の生活がどのように変わったかを検証し、市民の毎日の暮らしを大切に市政へと転換を望みたい。

Q. 地域経済活性化のため、建設業への事業拡大を
A. 国や県に強く要望している



- ここを聞きました！ **三村 靖行**
- 土木行政の考え方について問う
 - スポーツ交流人口の拡大について
 - 高梁市職員のあり方について
 - 高梁市地域公共交通総合連携計画の進捗状況について

建設業の現状をどう捉えているのか

三村 現在の建設業は、事業量の減少で衰退傾向にあり、地域経済に大きな影響を与えている。事業量拡大を求めて、今まで以上に積極的に国や県へ働きかけてもらいたい。

産業経済部長 予算確保のため国県との連絡を密にししながら、さらに強く要望していく。

小規模災害に市独自の補助はできないか

三村 30万円未満の小規模農林災害は公共災害の対象外となっている。これでは農地が荒廃する。補助制度を作ってもらえないか。

産業経済部長 農業にはさまざまな支援をしており、現状の制度でお願いしたい。

サッカースタジアムの建設について

三村 FC吉備国際大学シャルムがなでしこリーグに昇格した。ぜひ地元で応援できるサッカースタジアムの建設をお願いしたい。

公共交通総合連携計画について

三村 高梁市地域公共交通総合連携計画による旧高梁市の実証運行はどうか。

副市長 旧高梁市については、今後、実態調査に取り組み、効果が高くなるモデルになるところから進めていきたい。



平成24年の大雨による災害の傷跡はまだまだ深い

Q. 大型公共事業が行われるが財政に問題はないのか
A. 総合計画に基づいて行っているので問題はない



- ここを聞きました！ **宮田 好夫**
- 大型事業と財政について
 - 学童保育について
 - 安定型産業廃棄物最終処分場について

大型公共事業と財政バランスは

宮田 備中高梁駅バリアフリー化事業や駅前広場整備、新庁舎建設や図書館の建設など、大型事業が進んでいるが、市の財政は大丈夫なのか。

総務部長 これらの事業は総合計画に基づき行うもので、事業費は財政計画に盛り込んでいる。また、市の負担の少ない財源を活用するので問題ない。

宮田 中心市街地で大型公共事業が進められるなか、周辺地域は置いていかれるのではないかと不満の声がある。市は地域に向き住民の声を聞くべきではないか。

市長 現在、有漢・成羽・川上・備中では各地域と対話しながら地域

学童保育の対象引き上げについて

宮田 児童福祉法が改正され、学童保育の対象を小学6年生までにするることになっているが、前倒しで実施できないか。

市民生活部長 改正では、平成27年度から実施されることになっており、準備を進めていきたい。なお、現在でも対応可能な所は小学6年生まで受け入れている。



産廃の危険性学習会の様子

Q. 空き家・空き店舗を活用した新規起業に向けた体制整備が必要では
A. 支援組織の設置を検討し、起業家誘致に向け体制整備を考えたい



- ここを聞きました！ **森田 伸一**
- 地域を限定した基金の取り扱いについて
 - 空き家・空き店舗の活用について

空き家・空き店舗の活用について

森田 少子高齢化・過疎・人口減少等により地域コミュニティの消滅が危惧される。周辺地域では、空き農家・荒廃農地の増加により集落機能が体を成さなくなっている。空き家バンク制度等により移住定住者も増えており、一定の成果は上がっているが、今後は街中の空き家・空き店舗を活用し、新規起業に向けた体制整備が必要と思うがどうか。

市長 空き店舗等へ起業家を招致するには支援組織が必要と考えている。昨年設立した「住みたいまち高梁・創造ネットワーク」で基礎情報の収集を行っている。この組織を中心に支援組織の設置を考えていき

地域づくり基金の取り扱いについて

森田 合併時、特定地域の振興を目的に醸成された基金が21件ある。合併後10年で条例が廃止されるが、失効期限に向けてどのような検討をされているのか。

総務部長 寄付者の意向や設置目的を考慮し、統合・廃止・全市適用等、所管している各担当課で寄付者や関係者との事前協議を行っている。早急に方向性を示したい。

Q. 「今、蘇る方谷DNA」を生かしたまちづくりを

A. この地域の特長を生かした魅力あるまちづくりを進めていきたい



ここを聞きました！

- 今なぜ山田方谷なのか。その方谷DNAとは何かを聞く
- 「今、蘇る方谷DNA」（古いものと新しいものの融合）を生かした地域振興モデル（懐かしい未来都市高梁の創造）と地域ブランドの確立を
- 高梁市における農林水産物の鳥獣被害対策について

今、なぜ山田方谷なのか。その方谷DNAとは何かを聞く

大森 新規事業や機構改革に山田方谷に関するものがあげられ、また「方谷さんを広める会」などの活動が活発に行われている。今、なぜ山田方谷なのか。そのDNAとは。市長 方谷の教えや考え方を生かした魅力あるまちづくりを進めていきたい。それが高梁の活性化につながっていくと思っている。

競争優位性・比較優位性のある持続可能なまちづくりについて

大森 F.C吉備国際大学シヤルムや備中松山城・吹屋などの競争優位性のある資源と、農業、医療・福祉、観光、大学など比較優位性のある地域の特性を組み合わせ、他の自治体・地域を巻き込んだ方谷DNAを生かした地域振興モデルの確立を。市長 古いものと新しいものをつなぎ合わせることはとても大切だ。今まではそれを生かしてきれていなかった。そのような中でF.C吉備国際大学シヤルムが出てきた。これを生かしたまちづくりを進めていきたい。それには皆さんのご協力も必要だ。この効果を他の産業、地域の福祉に波及させていくことが重要だ。

Q. TPP交渉参加に高梁市として抗議をするべきではないか

A. 国への要望は必要によって行う



ここを聞きました！

- TPPについて
- 健康で文化的な最低限度の暮らしを保障する行政を求める
- 市民の安全・安心確保のための防災対策を求める
- 体罰やいじめのない学校と社会を目指すことを求める

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）について

難波 安倍首相が、本市の農業も経済も壊してしまうTPP交渉参加に向け踏み出したことに対して抗議し、参加しないように求めること。市長 内容が明らかでない現段階でのTPP参加には賛成しかねる。健康で文化的な最低限度の暮らしを保障する行政を求める。難波 国が生活保護基準の引き下げをするが、市民生活にどのような影響をもたらすのか。市民生活部長 最低賃金の引き下げの可能性、住民税や就学援助、介護保険の優遇処置への影響が考えられる。難波 国に対して保護基準引き下げ

を行わないよう要望すること。市民生活部長 国が内容を示した段階で、必要があれば市長会などと連携して要望する。

体罰やいじめなどのない学校と社会を目指すこと 難波 教育現場や武道の授業での体罰やいじめの実態を問う。教育長 体罰はない。いじめは小学校で7件、中学校で2件あったが、7件は解決している。難波 体罰やいじめをなくす取り組みはどうあるべきかを問う。教育長 体罰は根絶しなければならぬ。いじめについては、初期の段階で教員・保護者・生徒で素早く対応する。社会全体で、子どもたちを健全に育成する取り組みを続けていきたい。

Q. 「ゆ・ら・ら」を活用して養護老人ホームを整備すべきだ

A. 有識者による検討会議の動向を見守りたい



ここを聞きました！

- 自殺対策について
- 教員のメンタルヘルス対策について
- 健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の活用について

「ゆ・ら・ら」の有効活用を

川上 「ゆ・ら・ら」の施設を一部活用して、長寿園と成羽川荘を統合した高梁市養護老人ホームを整備すべきではないか。旧成羽高校跡地に整備するには2億円以上の余分な費用が必要になる。公共施設の箱物はこれから更新時期を迎え、維持管理費がどんどんかさんでくる。同類施設の統合も必要であり、使える施設は取り壊さず活用していくべきではないか。市民生活部長 「ゆ・ら・ら」については、これまでに有識者による検討会議を3回実施している。議論の中で福祉施設の整備についても意見が出ている。議論の動向を見守っている現状である。

教員のメンタルヘルス対策を

川上 近年、うつ病などの精神疾患により病気休職する教員が少なくない。教員のメンタルヘルスの重要性を鑑み、その改善に向けて、先進事例等を参考にしたり取り組んでいくべきではないか。教育長 これらの問題は教員個人による解決では難しく、学校管理職、さらには行政による支援も必要である。適正な教師間の役割分担、職場環境の改善、心の不健康状態にある教員の早期発見・早期治療に努めるよう支援していきたい。



ふたたび旅館となった「ゆ・ら・ら」

Q. 川上中学校改築の方向付けは？

A. 再検討し変化があれば議会にも相談する



ここを聞きました！

- 雇用促進住宅の活用について
- 人口減少時代における学校施設の有効活用について
- 市立図書館について
- 備中高梁駅バリアフリー化整備事業について
- 政策の統括と組織のあり方について

保護者の意見を尊重し川上中学校の改築を

宮田 川上中学校の改築については、地元の幼稚園、小学校、中学校のPTAの皆さんが改めてアンケート調査を実施し、6割以上の方が現在の旧川上農業高等学校跡地で良いという結果が出ている。教育委員会はこの結果を捉え、今後どのような対応をとるのか。教育次長 改めて地域の皆様のご意見を伺ったうえで、さまざま可能性を検討しながら、予定が変わるようならば議会にも相談をさせていただきます。

高梁中央図書館建設について

宮田 予算付けとそのプロセスについては、然るべき方法論があつて当然である。しかし、すでに5900万円の高梁中央図書館施設整備に係る予算が計上されているが、その十分な裏付けはない。これで議会の了承を得ようということは教育委員会の見識にも関わりはしないか。教育長 十分な説明ができていなかったことは真摯に反省している。



高梁中央図書館

本部機能を移転した吉備国際大学



Q. 高梁市発の高齢者の支援、見守り施策を!

A. これからは地域で支え見守って行かなければならない

全国に先駆けた高齢者福祉モデルを

妹尾 現在、川上地域で川上診療所の入院施設を改造して高齢者支援施設(高齢者住宅)が整備されている。この行政、医療機関そして地域住民が協力した医療福祉施策の展開は全国に先駆けたモデル的なものであり、これからの高梁市の主要施策として取り組んでいくことが必要ではないか。

副市長 今までは高齢者の介護等は家族で支え見守ってきたが、社会構造の変化もあり、これからは地域で支え見守っていかなくてはならない。

妹尾 順正学園(吉備国際大学)の岡山市への本部機能移転については、高梁市へ事前連絡があったのか。また高梁市への影響はどのようになっているのか。公私協力方式で大学を誘致し、60億円にも及ぶ市費を投じている。現在も年間1億円もの支援をしているのに、「順正」という高梁の歴史あるブランドを取られ、本部機能の移転までサツサとされて「ハイそうですか」では済まされないのではないか。

総務部長 大学からは、建物が老朽化し耐震強度にも問題があるので、本部機能の一部を移転するという連絡はあった。市としては今後も大学とより良い関係が続けていく。

妹尾 直言
ここを聞きました!
● 学校法人順正学園について
● 医療・福祉施策の展開について

Q. 県道新見川上線道路改良の早期着手を求める

A. 川合側からの改良について平成25年度から事業化する

県道新見川上線道路改良について

内田 新見川上線は、高梁市と新見市を結ぶ重要路線であるにもかかわらず、備中町井川から川上町川合間に未改良部分が約4.7kmある。特に川合から1km部分は幅員も狭く豪雨時には全面通行止めになる。県との交渉の現状はどのようになっているのか。

産業経済部長 市でも本路線は西部地域の重要路線と認識しており、毎年道路改良の要望をしている。内田 用地交渉が難航しているのであれば、川上町川合側から改良工事に着手する要望もすべきではないか。

内田 旧4町に設置されている地域局を本庁市民生活部に統合することが効果的な市政運営の推進になるのか。市長 地域局は現行と同じ体制である。局長は次長級を配置する。4地域局の横のつながりを密にして一体感を持たせ、その調整役を市民生活部長が行う。このことで市政運営がより効果的になると考える。

内田 大治
ここを聞きました!
● 町内会活動奨励金制度について
● 県道新見川上線道路改良について
● 平成25年度機構改革について

総務文教委員会

高梁市事務分掌条例の一部を改正する条例の審議では、政策監を市長の直轄にすると、市長権限が強まることになり反対との意見と、大型事業がめぐる押しの中で、今回の改正は理解できるとの意見があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。



文化センター南側の市有地

化し独断で進める方向もでき

てくることから反対との意見と、さまざまな課題があるなか、5年の任期で幅広い考え方で適任者を選ぶことは理解できるとの意見があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

平成25年度高梁市一般会計予算の審議では、図書館建設について、十分な説明ができていない中で、今後、慎重に取り組んでいきたいとの本会議での市長発言を踏まえ、



図書館建設候補地となっている駅前バスセンター

教育委員会の考え方、場所の選定までの経緯、経過について説明を求めました。

執行部からは、図書館は大勢の方の利用が一番で、駅前には利便性に優れている。雑音や安全面等の諸課題は、フロアのすみ分けをし、機能面を充実させ克服したいとの答弁がありました。

また、建設計画策定委員会で協議経過は、候補地を駅前バスセンターと文化センター南側の市有地に絞り込み、意見交換の中で、駅前バスセンターがよいという意見が多く出され、検討した結果、今回予算計上しているとの説明がありました。

委員から、建設場所について再考を求めたところ、執行部からは、市民の意見を聞きながら再度2カ所の候補地で検討

したいとの答弁がありました。

委員からは幅広い世代、さまざまな職種の方などから多くの意見を聴取するとともに、図書館司書などの人員の整備やサービスの充実を強く求めました。

採決に当たっては、大学に關係する予算が含まれ反対するとの意見と、図書館建設の予算について、議会の議論はもちろん、市民間の議論、教育委員会、市役所内部での十分な議論を尽くして方向性を示すことを執行部に求め、賛成するとの意見があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

なお、私学に対する補助及び助成の御願いの陳情書は、もう少し実態を調査して判断すべきであるといったことから、継続審査としました。

産業経済委員会

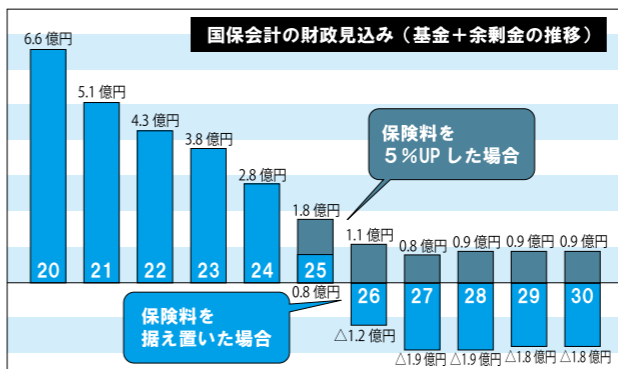
平成25年度高梁市一般会計予算の審議では、高梁駅バリアフリー化関係について、JRとの協議状況の説明を求め、執行部からは議会に出された意見についてJRと協議を進めている。特に外観や駅前広場については、案が確定する前に議会へ示し、協議していくとの答弁がありました。

また、駅東側にあるコインパーキングの今後の方向について説明を求め、執行部からは駅東側の街路が完成する平成26年度末には東側広場として整備することになるが、その間はなるべく使用できるようにしていきたいとの答弁がありました。

指定管理者の指定では、各施設の現状説明を執行部に求めるとともに、問題点や改善点を委員が提起しました。採決では、付託された議案すべてを全員一致で可決しました。

市民生活委員会

平成25年度高梁市国民健康保険特別会計予算の審議では、保険税の引き上げは、現在の社会、経済情勢から考えると市民生活の大きな負担となる。国保には多くの自営業者の方も加入しており、負担増によって市内で事業を行う魅力がうすれるのではないかとことから反対



すると意見や、国保税は引き上げざるを得ない状況にあり、やむを得ないとの意見があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。また、「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を国に求める意見書提出に関する請願については、賛成少数で不採択とし、年金2.5%の削減中止を求める請願についても、賛成少数で不採択となりました。

あなたの写真で議会だよりの表紙を飾りませんか?
議会広報調査特別委員会では、議会だよりの表紙写真を募集しています。ふるってご応募下さい。詳しくは、議会事務局 ☎ 21-0276

視察に行きました!

議会広報調査特別委員会視察報告

議会の情報化について意見交換

議会広報調査特別委員会では、去る2月5日・6日に愛知県大口町、三重県鳥羽市を視察いたしました。大口町は、町村議会広報全国コンクールで幾度も入賞されており、議会広報紙についてレイアウトの方法や、タイトルの付け方などの編集技術や基本的な考え方について広報担当議員に

同席いただき率直な意見交換を行いました。鳥羽市議会ではインターネットをはじめとして、最先端の情報技術を駆使して議会の「見える化」に取り組んでおられ、主として本会議や委員会のインターネットによる動画配信の方法について勉強させていただきました。

今回の視察内容を参考とし、議会だよりについては、全面リニューアルに取り組んだところですが、また、本会議のインターネットによる動画配信については、物理的には可能なものの課題もあり、今後、前向きに考えていきます。



大口町議会との意見交換の様子



鳥羽市議会の映像配信システムの視察

初めての議会報告会を開催しました

市民に開かれた議会を目指して 市内5カ所で意見を交換

4月22日から26日までの5日間、高梁市内の各会場で議会報告会を開催しました。

第1回となる今回は、4つの班に分かれた議員が、市内の5つの会場に足を運び、平成25年の3月議会の報告と、「駅前周辺整備について」をテーマに意見交換を行いました。高梁市議会では、市民に分かりやすく開かれた議会を目指して、平成23年から議会改革を進めています。平成24年度には議会活動の基本ルールとなる「議会基本条例」を制定しました。議会報告会は、この議会基本条例の中で開催が義務付けられているものです。

今回は5会場で約108人の方に参加していただきました。報告会の詳細は、議会の公式ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

みんな意見が寄せられました!

- 「報告会」なのか「意見聴取会」なのかはつきりしなかった。
- 発言時間は事前に決めて区切るのがいのではないか。
- 議員目線のような気がした。もっと市民目線で行ってほしい。
- 駅周辺だけでなく、周辺地域のこともっと目を向けてもらいたい。
- 報告会ではなく、市民ともしっかり議論ができる時間を十分にとってもらい、年2回以上は開いてほしい。
- 今回出された意見に対して、今後どのように対応されるのか。信頼されるようにしてほしい。
- 参加者のガス抜きにするなら今後は不要。
- 図書館建設では教育委員会や議会でも議論が尽くされていないのは問題だ。

議会活性化これまでの流れ



市民と議会との懇談会



議会報告会の様子

市民のために 何ができるのか

議員研修会を2月18日に開催

新潟県立大学国際地域学部
の田口一博准教授を招いて議
員研修会を開催した。
田口先生は、高梁市の議場
について、机やマイクなどを
自由に配置できる所は、市議
会では他に例がない。また傍
聴席が議員席に近いことなど
から、高梁市の議場は市民に
身近な存在であり全国に誇れ
ることだと話された。



議場を使用している研修会

あり、議員は地域に出て調査
を行うことや、市民の声を聞
くことが大切である。議案に
ついては、公聴会や参考人の
招致を行い、議会としてまち
の現状を考え、将来はどうあ
るべきかの目標を持ち、多样
な意見の中から導き出された
答えを積極的に議会が提案す
ることも必要であると述べら
れた。

最後に、議会改革とは「議
会や議員が『市民・まちのた
めに何ができるのか』であ
る」と締めくくられた。

気になるスポット

The spot
of
Takahashi

松山城を望む見晴台

標高400m。松原町神原地内、かぐら街道と県道の交差点の一角、松山城を望む見晴台からの眺望です。この見晴台は昨年、松原地域まちづくり推進委員会により設置されました。眺望もさることながら、冬分の日の出や雲海が美しく、写真愛好家の方の姿をみかけることもちらほら…。ちょっぴりお城の姿は小さいですが、これからは新緑の美しい季節。写真ファンの方も、そうでない方も、かぐら街道のドライブがてら足を運ばれてはいかがでしょうか？



編集後記

今年のゴールデンウィークは、休み都合によっては例年になく長かったとか。家族サービス、田植えの準備、休みに関係なく仕事などなど、さまざまな連休模様があるようです。

市議会だよりも、新メンバーになって2回目の発行となりました。この度の新年度号では、議会広報調査特別委員会の視察成果を踏まえて、大幅な紙面のリニューアルを行ったところ。これからも市民の皆さんとのつながりを大切に、現状に満足することなく新しいアイデアを盛り込みながら、読んでもらえる紙面づくりに取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。 宮田 公人

編集
議会広報調査特別委員会

- 委員長 宮田 公人
- 副委員長 宮田 好夫
- 委員 川上 博司
- 委員 森田 仲一
- 委員 石部 誠
- 委員 石田 芳生
- 委員 石井 聡美

☆ご意見は「こちら」まで

高梁市議会事務局

高梁市松原通2043

TEL 0866-21-0276